

運転保守状況(備考欄)

2号機

蒸気タービン動翼取付部点検工事について

平成24年10月10日、他の原子力発電所において、低圧タービン動翼^{*1}取付部の超音波探傷検査^{*2}の結果、有意な指示波形が確認されたため、蒸気タービン動翼取付部の自主的な点検を行い、健全性を確認することにした。

点検期間は、平成24年10月下旬から12月下旬までを予定。

平成24年10月30日から開始した超音波探傷検査において、一部の動翼取付部に有意な指示波形が確認されたことから、詳細に点検を行うため、平成24年11月17日から動翼の分解作業に着手。

今後、磁粉探傷検査^{*3}等により、詳細に点検を行う。

平成24年12月4日、12月3日から開始した磁粉探傷検査で、C-低圧タービン第10段動翼取付部において、ひびを確認した。

今後も引き続き、有意な指示波形が確認された他の部位の詳細な調査を進め、必要な補修を行うことにしている。

(中国電力(株)公表済)

- * 1 タービンに入ってきた蒸気エネルギーを回転力に変換する羽根であり、タービン車軸に固定され、回転する。
- * 2 非破壊検査の一種で、検査対象物に超音波を入射し、対象物内からの超音波の反射によ探傷波形を確認することにより、欠陥の有無を調査する検査。
- * 3 非破壊検査の一種で、検査対象に磁界を作用させたときの磁粉模様により、対象物表面(表面近傍の内部を含む)の欠陥の有無を調査する検査。